

学校保管の防災備品について

近年、気候変動による自然災害が増え、みなさんの防災への意識が高まっていることと思います。そのような中、学校に保管している防災バッグや備品の準備にお悩みの方も多くいるのではないのでしょうか。

そこで、防災対策部では学校保管の防災備品について各家庭でどのようなものを用意しているかを知ることができると参考になるのではないかと考えました。

今回は部員が実際に用意した防災バッグを見ながら、各自準備をするときに困ったことや工夫したこと等、意見を出し合いまとめました。

今後、入れ替えや新しく準備する際の参考になればと思います。

①防災バッグ



- ・ 持っていくのが重くて大変なのでキャリーケースにもなるリュックを用意しました。
 転がせるので入学式の日にも楽に持って行けました。
- ・ ローリングストックできるようにリュックを2セット用意して、
 入れ替えの際にリュックごと変えるようにするのも便利だと思います。

②非常食・飲料水



(小学部低学年の例)



- ・ 学年によって食べる量が違うので、どのくらいの量を入れたらいいか知りたかったです。
- ・ 家で食べられるか試してから入れました。
- ・ 確実に食べられる長期保存のポテトチップスやゼリー等おやつになるものをご飯と一緒に袋に入れました。
- ・ どこに売っているのか実際の店舗が分からず、オンラインショッピングモールで購入しました。
- ・ お皿やスプーン等、どう準備したらいいか分からなかったので使い捨てのものにしたのと、食べるときに服を汚すので使い捨てのエプロンとウェットタオルも中に入れました。

12月3日に防災対策部でそのまま食べられる非常食を集めて試食会を行いました。
実際に食べてみて出た意見をまとめています。



麺類：そのまま食べられるうどんやパスタがあったので試してみました。
どちらも途中で麺が固まっていたので食べる前に麺をほぐす必要がありました。
また、そのままの袋で食べるのが難しく別の容器が必要そうです。温めたら美味しそうです。

ごはん・パン：そのまま開けて食べる事ができるので便利でした。
ご飯は柔らかかったです。パンは逆に固めでした。



おかず・おやつ：チキン・ウィンナー・ハンバーグ・バウムクーヘンも試してみました。
全体的に肉類は柔らかく、チキンは刻み食もできそうなくらいバラバラにすることができました。バウムクーヘンは固めで甘く子供たちも食べられそうでした。